

令和6年度 政策研究共同研修に参加して

南国市 企画課
小松 幸司 さん

『政策研究共同研修』ということで、政策立案のための手法として問題等の分析方法、問題解決のための課題設定、周囲を説得するための企画案の作成及びそのための情報収集など、多くのことをこの研修で学びました。また、個別に政策を考えるので行き詰まることもありましたが、一緒に参加した仲間、西野講師及び広域連合の方々の協力でなんとか形にできたので、『共同』の重要性についても改めて実感できました。皆様、本当に有難うございます。

今回学んだことは、政策立案に限らず様々な問題解決の手法としても活用できるので、今後の業務に役立てたいと思います。

今回の研修を振り返ると、本当にいい経験ができたなと感じています。初めは、政策の「せ」の字も知らないような状態で参加をしましたが、研修会、グループ会に参加していくにつれて、政策とはなにかを理解し、最終的には自分の色を出した政策を作ることが出来ました。

日常の業務では出会うことのなかった、他市職員の仲間と相談や意見を出し合った事は、いい刺激にもなり、楽しんで政策を作っていくことができました。

最後に、ご指導いただいた西野講師をはじめ、研修生の仲間、こうち人づくり広域連合の皆様、本当にありがとうございました。

越知町 保健福祉課
高橋 諒 さん

今回、約4か月間にわたり本研修に取り組みました。一から政策立案することは本当に頭を悩ませることが多く大変でしたが、意見交換やブラッシュアップする時間は気づきや学びも多く、徐々に政策が形になっていくことにやりがいを感じました。

常にプロセスを立てたうえで、やるべきことや必要な情報が明確化されていくことを実感しましたので、研修で経験したことを忘れず、今後の業務においても活かしていきたいと思います。

最後にご指導いただいた西野講師をはじめ、広域連合の皆様や研修生、そして参加する機会をくださった職場の方々に感謝いたします。

高知市 公営事業課
蒲原 美鈴 さん

今回の研修にお声がけをいただいた時は、政策に関する知識もない状態で不安でしたが、いただいた機会、政策について学び、プレゼンの苦手を克服したいという思いがありました。約4ヶ月間という長いようで短い期間の中で、地域課題の分析方法や政策立案の基礎を学ぶことができ、とても勉強になりました。

研修の中で、自分一人で考えていると行き詰まることが度々ありましたが、西野講師や研修生の皆さんから意見をいただくことで視野が広がり、何とか政策を形にすることができました。今回の研修で、目的を明確にすることの大切さや、なんのための事業であるのか、事業実施の先にいる市民の方々に寄り添ったものになっているか、改めて考えることの大切さを学びました。

最後に、今回の研修は頭を悩ませることも多く、大変ではありましたが、自分の考えていることが少しずつ形になっていくことは充実感もあり、楽しい時間でもありました。西野講師やこうち人づくり広域連合の皆様、研修生の皆さん、また、サポートいただいた職場の皆様には心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

高知市 保育幼稚園課
掛水 奈穂 さん

普段、政策について考えることもなく過ぎる日々とは違う刺激的な研修期間だったと思います。通常業務等と並行して最後までやり遂げられるか不安でしたが、皆さんからアドバイスをいただきながら一つの形を作ることができました。

今回の研修を通して、自分で調べることや人に頼ることがいかに大切であるかを再認識し、これらを今後の業務に生かしていきたいと思いました。

最後に、ご指導いただいた西野講師やこうち人づくり広域連合の方々、ともに研修を乗り越えた仲間をはじめ、支えていただいた方々へ心から感謝いたします。

香美市 建設課
坂田 康孝 さん

新メンバーの紹介

人づくりチームに新たなメンバーが加わりましたので、紹介します。

こうち人づくり広域連合の事務局は、市町村および県からの派遣職員で運営しています。新メンバーを加え、みんなで協力し、引き続き人材育成のための事業に取り組んでいきますので、これからも広域連合をよろしくお願いします。

そして、研修への参加や各種事業をぜひご活用ください。

【横山さんから一言】

人材の育成・確保に少しでもお役に立てるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

横山 大輔 さん
(派遣元：越知町)

発行：こうち人づくり広域連合



第65号 2024年12月

ゆるりっくの“ゆるり”は土佐弁で“囲炉裏”のことです。

令和6年度 政策研究共同研修 事業報告



写真左から：掛水 奈穂さん(高知市)・蒲原 美鈴さん(高知市)・坂田 康孝さん(香美市)

高橋 諒さん(越知町)・小松 幸司さん(南国市)・西野 毅朗講師(政策指導)

政策研究共同研修は、地域課題をテーマとして課題解決に向けた政策研究を行い、職員の実践的な政策形成能力の開発を図るとともに、活動成果を構成市町村の施策に反映させることを目指す研修です。令和6年度は、4市町5名が参加し、(一社)日本経営協会の講師、西野毅朗氏の指導のもと、政策課題の発見から分析、情報収集を行い、研究生の所属する自治体が抱える課題解決の具体化に取り組んできました。研究生が4か月間にわたり互いに切磋琢磨し完成させた政策のうち3提案を、10月25日(金)トップセミナーにて発表しました。

政策(企画概要)は次ページから☆

令和5年度こうち人づくり広域連合一般会計歳入歳出決算の報告

10月22日に開催された、こうち人づくり広域連合議会第45回定例会で、令和5年度決算が認定されましたので、お知らせします。歳入と歳出の概要は、次の表のとおりです。

【歳入】		(単位：円)		
款	予算現額(A)	収入済額(B)	(B-A)	
1 分担金及び負担金	132,352,000	132,351,980	△20	
2 財産収入	1,069,000	1,069,000	0	
3 繰入金	0	0	0	
4 繰越金	8,995,000	8,995,405	405	
5 諸収入	14,000	15,837	1,837	
歳入合計	142,430,000	142,432,222	2,222	

【歳出】		(単位：円)		
款	予算現額(A)	支出済額(B)	(A-B)	
1 議会費	539,000	256,332	282,668	
2 総務費	75,908,000	73,280,289	2,627,711	
3 事業費	64,983,000	59,939,694	5,043,306	
4 予備費	1,000,000	0	1,000,000	
歳出合計	142,430,000	133,476,315	8,953,685	

歳入歳出差引残額 8,955,907 円

令和6年度 政策研究共同研修 企画概要

友だち 46,000 人できるかな？
～アナログ広報からの脱却～南国市
企画課
小松 幸司

ビジョン 広報をデジタル配信することで『伝わる』広報に!!

現状 南国市の広報が伝わらない
情報を発信しても住民に見てもらえない
掲載している情報が限られている**原因** 情報発信のタイミングが限られるため緊急の情報発信ができない
自発的に情報収集を行う必要がある
掲載スペースが限られているのですべての情報は掲載できない➡ **LINEによる広報が問題解決に有効だが、住民の友達登録が必要!**

政策

- ① LINEを利用できる環境整備を行い、南国市の公式LINEの魅力(有用性)を周知!
- ② 南国市の公式LINEを住民が友達登録したいと思える魅力づくり!

■デジタルデバйд対策
LINE利用率を100%に!
スマホ教室
乗り換え補助金(市独自・要件有)

■周知活動
公式LINEの登録促進!
広報・ホームページ
イベントでの紹介
転入者への案内



■利便性向上
公式LINEのオンライン窓口化!
オンライン手続等を更に追加
各種通報機能の拡充
自動応答の問い合わせ機能の拡充

■特典配付
友達登録者はお得!
公共施設のクーポン
手数料等のクーポン



目標

友達登録者数

現在
約5,600人
3年後
30,000人
(各世帯1名登録)
5年後
46,000人
(住民全員が登録)

PUSH! スポーツ文化・若者支援
・・・スケートボードでまちを変える・・・越知町
保健福祉課
高橋 諒

ビジョン 越知町の生涯スポーツの振興を後押しし、みんなの思いを実現できる場所に!!

現状 令和元年の町民満足度調査で
・生涯スポーツの振興
・生涯学習施設の整備・充実
・新たな地域文化の創造

それに加え

保育園や小学校などの力を入れたい事として、こんな声が...

・遊びの中の学び
・学校外での居場所創り
・スポーツ人口の増加
・非認知能力育成
・家から出るキッカケ創り
・新しいスポーツに取り組む

上の3つが前に比べ大きくDOWN!!

政策

- ① スケートボード場の整備
未使用資産を利用し、スケートボード場を整備。
整備したスケートボード場では、利用者自身に清掃までしてもらうことで、利用者の団結力 UP!
また、初心者～上級者向けの様々な障害物を準備しておき、利用者の難易度に合わせて工夫して滑ることができるようにすることで、想像力や思考力 UP!
- ② スケートボード体験会の開催
スケートボード取扱関係企業や近隣市町村と協力し、体験会を開催。
スケートボード愛好家を増やし、越知町のスケートボード場にたくさんの方が訪れ、子どもも大人も楽しみながら成長や健康管理できる環境を整備。

目標

スケートボードを軸として、
・住民同士の交流
・子どもたちの居場所づくり
・運動不足解消



予算

① スケートボード場整備費
プール整備費 500,000円
セクション代 100,000円
② 体験会委託費
体験のための経費 1,650円/人
スタッフ人件費等 20,000円/人



NEXT KOCHI

～都市型スポーツで繋がる街と人～

高知市
公営事業課
蒲原 美鈴

ビジョン 魅力的なアーバンスポーツ施設を整備し、地域内外の人が集まるにぎわいの街へ!!

政策

- ① 施設整備
■跡地活用でアーバンスポーツ施設を整備
・高知南中学・高校跡地に整備
■来場者のニーズに応えた設備
・注目度の高い3種目のエリアを整備
・休憩所や観覧席を整備
- ② 環境整備
■利用促進に向けた対策
・高知市アーバンスポーツコミッションを設立
・体験教室やイベントを開催
■情報発信・情報共有の充実
・高知市公式LINEやSNSで情報発信

効果

	利用者数	交流人口
1年目	2万5,000人	8,500人
3年目(累計)	7万5,000人	2万5,500人
5年目(累計)	10万人超	3万人超

予算

【初期費用】
↳ 直接工事費 約2億6千万円
【管理費・人件費】
↳ 指定管理者制度を導入、約2千万円/年

交流人口増加や街のにぎわい創出に向けて環境を整える

世代間でつながる

～eスポーツで新たな地域交流～

高知市
保育幼稚園課
掛水 奈穂

ビジョン 交流が増えることで地域内の絆が深まり、自然と助け合える関係に!!

政策

- ① 出前体験会の開催
step1 モデル地区の選定
町内会活動等が活発な地区を選定し、体験会の内容を説明
step2 出張体験会の開催
当日は(一社)高知県eスポーツ協会へ運営を委託し、体験会を実施
step3 他地区への事例報告
体験会開催のアンケートや当日の写真をもとに報告を作成し、先進的な活動事例として他地区へ紹介
- ② 地区eスポーツ運動会の開催
■天候に左右されない
屋内での開催のため、雨天時でも開催可能!
■自宅からのオンライン参加
YouTube等でのリアルタイム配信で、自宅からも観戦可能!
■気軽に参加できる
人と直接会うのが苦手な方や、身体が不自由な方でも参加可能!

目標

- ① 出前体験会
2地区×年4回=年8回実施
参加者数 合計320人
- ② 地区eスポーツ運動会
2地区×年1回=年2回実施
参加者数 合計260人

予算

年間204万円
① 約18万/回×年8回=約144万円
② 約30万/回×年2回=約60万円

未来を耕すアグリライフ!
新規就農者スタートアップ支援事業香美市
建設課
坂田 康孝

ビジョン 新規就農者の活気が織りなす農業先進地の香美市へ!!

政策

新規就農者スタートアップ支援事業

- 支援要件
年齢や世帯所得の要件なし
- 支援内容
補助額40万円/回(補助対象経費の1/2、1回限り)
① 肥料等の農業用資材の購入
② 農業用機械及び農業用器具の購入並びに使用に要する費用等
- 周知徹底
広報活動(就農・移住相談、オンデマンド相談会等)
SNS(Facebook、Youtuberと協力)等

目標

相談者数 20名/年度
就農[受給]者数 10名/年度

予算

年間400万円(40万円×10名)



“農業を始めたい”気持ちを後押し